

**製品名: カルボニル還元酵素 1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07921**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	32kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CBR1
別名	CBR1; CBR; CRN; Carbonyl reductase [NADPH] 1; 15-hydroxyprostaglandin dehydrogenase [NADP(+)]; NADPH-dependent carbonyl reductase 1; Prostaglandin 9-ketoreductase; Prostaglandin-E(2) 9-reductase
遺伝子 ID	873.0
SwissProt ID	P16152
免疫原	抗血清はヒト CBR1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 181-230

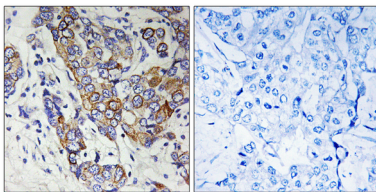
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、短鎖脱水素酵素 / 還元酵素 (SDR) ファミリーに属し、キノン、プロスタグランジン、様々な生体異物などのカルボニル化合物に対して広範な特異性を有する NADPH 依存性酸化還元酵素として機能する。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つかっている。 [RefSeq 提供、2013 年 11 月],触媒活性:(13E)-(15S)-11- $\alpha$ ,15-ジヒドロキシ-9-オキソプロスト-13-エノエート + NADP(+) = (13E)-11- $\alpha$ -ヒドロキシ-9,15-ジオキソプロスト-13-エノエート + NADPH.,触媒活性:(5Z,13E)-(15S)-9- $\alpha$ ,11- $\alpha$ ,15-トリヒドロキシプロスタ-5,13-ジエノエート + NADPH. = (5Z,13E)-(15S)-11- $\alpha$ ,15-ジヒドロキシ-9-オキソプロスタ-5,13-ジエノエート + NADPH.,触媒活性:R-CHOH-R' + NADP(+) = R-CO-R' + NADPH.,機能:様々な抗腫瘍性アントラサイクリン系抗生物質を含むカルボニル化合物の分解に関与する。プロスタグランジン E2 をプロスタグランジン F2- $\alpha$  に変換する。類似性: 短鎖脱水素酵素 / 還元酵素 (SDR) ファミリーに属する。サブユニット: モノマー。 ,

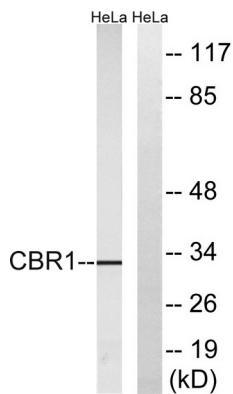
## 研究分野

アラキドン酸代謝;

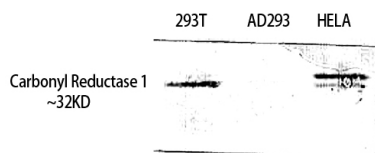
## 画像データ



CBR1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



CBR1 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



カルボニル還元酵素 1 ポリクローナル抗体を用いた 293T HELA のウェスタンブロット解析。抗体は 1:1000 に希釈した。